



「大規模経営」にはかかせない

石川 喜久雄様 (愛知県)

使用方法 水稲、大豆、麦で100ヘクタール以上を経営しており、全てに息吹LDを使用。水稲は、フレコンから培土10kg、息吹1kgをタライに入れて混合、その日の播種枚数に応じて袋に分けて準備します。薬剤散布機を利用し、播種と同時に苗箱に落として使用しています。また大豆、麦にはコーティングにて使用しています。

実感していること 息吹は育苗の時点で違いがハッキリ分かります。比較的異常気象にも強く、また大面積を効率よく管理できることが良いです。

ひとつこと 大豆ではサヤの付き方で納得、違いの分かりにくい麦でもハッキリと体感しています。気が付いたら息吹との付き合いは10年以上になりました。



大規模でも「手間なし」混合

やまねファーム様 (滋賀県)

使用方法 水稲、大豆で息吹LDを使用。水稲は培土メーカーに依頼し、息吹を混合するので手間いらず。大豆はコーティングして使用。

実感していること 収量が向上するのはもちろんですが、刈遅れ気味の圃場でも、実際に収穫してみると、ツヤもあり品質が良いので適期が伸びた感覚になります。また水はけが大きく改善され、大型機械でもスムーズに入ることができます。この土の変化は作業員も感じていて、実際の作業効率も大幅に向上しました。

ひとつこと 大規模で土壌改良するには息吹しかないのでは？すでに10年以上使っています。



代理店主導によるお客様との「共同作業」

原田商会様 (愛知県)

使用方法 お店で各個人、タライの中に種粉と息吹LDを混合します。それをお店の播種機を共同で使い、ホッパーに入れて落として使用します。

実感していること 根張りの良さが良くわかるので息吹を使い続けています。2016年は雨が多く、出来を心配していましたが前年に比べ1俵半も多く取れました。大粒でくず米も少なかったのは不安定な気候にも強い息吹のおかげです。

ひとつこと 息吹を使っているお客様が白菜の品評会で銀賞を受賞し新聞に掲載されました。長雨、日照不足で多くの葉物農家が生育不良で悩まされている中で、根腐れもなく大変良い結果になりました。



使えるところ
「全て」に使用

安形様 (愛知県)

使用方法 播種後、育苗箱を並べ、上から茶こしを使用して2人で散布しています。

実感していること 田んぼの土質が変わり、均一化されたようで代掻きがきれいに仕上がりが楽になりました。水稲はもちろんですが、野菜、桃、花などすべてに使用しています。野菜畑ではフカフカに変わり、土の色まで変わってきます。お米は冷めても美味しく、噛むほど甘くなると評判です。



「直売」で勝つ！

日栄 誠一様 (愛知県)

使用方法 みのるのポット育苗です。1か月前から培土の準備を始めますが、土の湿度を一定にするため、シートの上に土を広げます。その際に息吹を混合します。また常識とは違うのですが、ビニールハウスではなく畑でトンネル育苗をします。この方法で30年、失敗は一度もありません。他の野菜にはLDミネラルを使用しています。ウネをならす前に手で振っています。

実感していること 息吹

を使うととにかく良く育つ。根張りが良くなり、肥料をよく吸い上げるのです。かぼちゃで実験した際には、息吹を使用していないものよりも1か月ほど成長が早かった。その為、出荷時期に合わせてタイミングよく撒くことが重要になります。成長を計算し、ゴボウなどは他の生産者よりも一足先に出荷しています。

ひとこと ほとんどが直売ですから、食味、鮮度、見栄えが重要です。これらすべてを満たす息吹は手放せません。三つ子の魂百まで、という言葉がありますが農作物にも同じことが言えます。つまり苗の時に手を抜かずに大切に世話をしあげることです。



「連続入賞！」日本トップクラスの味の伝承者

主穂宮 農様 (岐阜県)

使用方法 みのるのポット苗を使用しています。みのる純正培土に息吹LDを混合して使用します。約2反分の覆土(40kg)に息吹LDを660g、攪拌機を使用して混合していますよ。

実感していること 毎年自家種(旧ハツシモ)に使用しています。種籾の生命力が増えている感覚で、毎年大きくなっています。

ひとこと 2015年度、初めて出品したお米コンテストで2つの賞を受賞。2016年度はスシ米コンテストで特Aランクの評価。全国トップクラスの生産者達と交流し、切磋琢磨しています。2017年度もトップランク目指します。



「新規就農」、将来有望なこだわりの若手農家

奥村 康平様 (岐阜県)

使用方法 農協から苗を購入し、緑化苗に使用しています。苗箱に茶こしを使用し上から振りかけています。

実感していること 生育の過程で息吹の効果が分かりました。息吹を入れていない方と比べると根の張り方や実の付き方が良かったです。収穫時期の天候が不安定で稲刈り時期を早めたり、雨が多く天日干しでの乾燥が上手くいかず、今年は納得いくものではありませんでした。息吹は生き物を元気にする力があると思いますので、他の条件とうまく融合させ、より良い効果を発揮させるために今後も研究していきます。

ひとこと 除草剤やカメムシ防除剤などを使わず、自然にも健康にも良いお米作りを目指しています。最近では見かけなくなったハサカケですが、昔ながらの風景を後世に残したい気持ちがあり続けています。手間はかかりますがお米作りは楽しく、やりがいを感じています。



「工夫」 x 「発明」 x 息吹

篠原 農産様 (岐阜県)

使用方法 水稻には種籾にコーティングして使用します。他には柿やタマネギ、ブロッコリーなども作っていますが、完熟ぼかしを作る際に息吹を混合しています。ドラム缶1杯のぼかしに息吹を約200gの割合で入れます。

実感していること 息吹を使用すると、とにかく食味が向上します。直売所があるので味は重要です。見た目も味もよく、注文も増えています。柿はもちろん、タマネギやブロッコリーも甘みが違うと評判で、買いに来てくださるお客様とお話することがいつも楽しみです。

ひとこと 自分で設計したオリジナルの乾燥所、そのおかげで以前より作業効率が1.5倍以上上がりました。ぼかし肥料は運ぶ手間を考え、自分でコンテナを作成し、フォークリフトで運びやすくするなど、いろいろと工夫しています。